



これまでの「輝け！おばねっ子」は上のQRコードからご覧いただくことができます

～尾花沢の未来をひらくいのち輝く人間の育成～

※毎週月曜日発行予定です

英語教育研修会 子供達も先生方も熱心に学びました

6月10日(月)、本市チャレンジ・イングリッシュプランの取組の一つ、英語教育研修会が尾花沢小学校にて行われました。これは、英語の授業公開を通して、小中学校の先生方が、子供達に英語力を育むための授業づくりを研究するものです。

齋藤寿子先生と Harry 先生の週末は…

■子供達の学び～「聞く力」を育む授業公開～

この日は、6年1組で、齋藤寿子先生とALTのHarry先生が、英語を「聞く力」を育む授業を行いました。具体的には、齋藤先生とHarry先生が、「週末はどうでしたか？」と質問し合い、「I went to～」(⇒私は～へ行きました)「I ate～」(⇒私は～を食べました)などの表現から、どんな内容であったかを聞き取る内容でした。すなわち、過去形に関する学習内容となります。

実は、過去形は中学生で初めて学習するのではなく、小学生のときに既に耳にしていることを知りました。中学生が、過去形を学ぶ場面になったときに「あ！この表現を前に聞いたことがある！」などの声があがるといいですね。

授業終了後、1人の女の子が、授業での反応が鈍かったことを気にしたのか「いつもはもっと活発で元気なのですが…」と申し訳なさそうに、参観した先生に話していました。でも、それは「英語の意味を一生懸命聞き取ろうとしていたからこそ」と私は思いました。齋藤先生、Harry先生、そして6年1組の皆さん、授業を提供していただき、ありがとうございました。



集中して聞き取ろうとする6年1組の子供達

■先生方の学び～事後研究会(太田先生の講義)～

授業後には、先生方が、6年1組の授業をもとに、英語の授業づくりについて意見を交換しました。

また、英語教育の第一人者である東京家政大学の太田先生から「聞くことの指導と評価」のテーマで、背景知識(=スキーマ)を生かしながら聞くと主体的に学ぶことができること、言葉の学びとは「意味」と「形」があることなど



分かりやすく説明して下さった太田先生

についてお話いただきました。

先生方は、太田先生の講義に熱心に耳を傾け、「なるほど！」とうなずいたり、自分の考えをつぶやいたりしており、たいへん充実した研修会となりました。

【担当】尾花沢市教育委員会こども教育課
教育指導室長 工藤 雅史
TEL 23-3330

充実していた先生方の学びの様子

